

# 浜松西ロータリークラブ週報



世界に希望を生み出そう



2023～2024年度  
国際ロータリー会長  
ゴードンR.マッキナリー  
第2620地区 ガバナー  
中村 皇 積

## Rotary International D2620 (静岡第5グループ)

事務所 浜松市中区元城町109-18 〒430-0946  
例会場 ホテルコンコルド浜松 例会日 毎週金曜日12:30～13:30  
Tel:053-457-1116 Fax:053-455-4614  
E-mail : hamamatsu-nishi@ri2620.gr.jp  
会長 青木元男 幹事 滑原浩介  
クラブ報委員会 木下英也 瀧本健司 竹山定志  
鈴木正史 須藤京子

第2163回 Vol.47-No.13 2023/11/17(金) 12:30～13:30 (曇)

司会SAA 岩瀬綾太君  
点鐘 会長 青木元男君  
ロータリーソング「奉仕の理想」  
ソングリーダー 竹村寿文君  
四つのテスト 内藤久子君  
ゲスト 小林武治様 (静岡RC)  
(第2620地区 公共イメージ委員会委員長)



員会の中村委員長及び山地パスト会長におかれましては、沼津で開かれましたインターアクト指導講習会に参加いただきましてご苦労様でございました。

本日は地球の環境について徒然考えてみました。ぬるま湯の中の“ゆでガエル”というお話を聞いたことがあると思います。居心地の良いぬるま湯のような状態に慣れきってしまうと、周りの環境の変化に気付かず、いつの間にか死んでしまうと言うお話です。人間の判断力もまさにカエルと同じでして衝撃を加えられないと危険を察知しにくく、また実際に危険が迫っていても緊急でないと判断すれば、いつまでもじっとして動かない。カエルであれば死を免れるためには鍋から飛び出せばよいのですが、人間はそうはいかない、地球の環境が劣化したからと言って地球の外に飛び出すわけにはいきません。また、地球温暖化の対策をすぐに実行したとしても温暖化はすぐには止まらない。それはこれまで放出してきた温室効果ガスの蓄積があるため、その効果が出るにしても数十年先ということになります。



出席報告 北角秀和君

会員数	総出席	当日出席率
49名	39名	83.33%

(免除者 15名) (事前MU 1名)

会長挨拶 青木元男会長

皆様こんにちは。ご挨拶を申し上げます。11月12・13日と親睦委員会における親睦旅行に行っていました。軍艦大和の誕生しました軍港であります呉港より船で世界遺産であります安芸の宮島で一泊致しまして広島原爆ドームのある平和記念公園及び資料館を巡る旅でございました。広島は今年開催されましたサミットの開催地でもあり、また宮島は世界遺産でもありお色直しもされて、今年一推しの観光地でございます。また原爆ドームの悲惨さは何度訪れても言葉には尽くせない遺構であります。昨今の世界ではロシアウクライナの戦争また最近ではイスラエルガザ地区での紛争というよりももう戦争の域に入ってしまった惨状は見るに堪えない状況でございます。広島出身の内閣総理大臣には憲法第九条だけは決して曲げてはいけないことを、改めて認識していただきたいと思っております。



まさに地球環境の変化が緩慢であるがために危機意識が働かない状態に慣れてしまっているのが現状であると思います。人間にとって地球は唯一無二の生存場所であり人間が排出する二酸化炭素や窒素酸化物などを薄めてくれる大気や水も地球に存在する資源であって無限にあるわけではございません。地球という共有地をどのようにして守っていくのか。ある農村の話があります。その村の住民たちは牛たちを村共有の牧草地に放牧し共同で牛を飼っておりました。牛たちは村の共有地で放牧され、村人は牛の乳を搾ったり、牛を市場で売ったりして安定した生活を営んでおりました。しかし、ある時一人の村人が牛の数を増やして共有地に放牧して財を成します。それを見ていた他の村人たちも同様に牛を増やしたから大変です。牧草地の草は食べ尽くされ、たくさんの牛は死んでしまいました。この話の農民たちは向上心の富んだ人々であり、何とか自分たちの生活を豊かにしようと知恵を絞り工夫を凝らしたと思います。馬鹿ではありませんから、牛を増やせば、いずれ牧草は食べ尽くされてしまうことも予知していたと思います。しかし誰一人として牛の数を減らそうとはしなかった。自分だけ牛の数を減らしたとしても、他の村人が牛の数を増やせば、焼け石に水であり、将来の破滅がわかっているにもかかわらず、牛の数を増

当日は、紅葉には若干早かったのですが、少し寒くなったものの、どうにか天候にも恵まれて、瀬戸内海での船旅も非常に気持ちの良い時間を16名の皆様と共有できました。男性8人女性8人大変賑やかでありまして、話題には事欠くこともなく、親睦委員会の皆様大変ありがとうございました。また青少年奉仕委



やす動きは止まらなかったでしょう。地球を一つの乗り物に喩えた「宇宙船地球号」という言葉があります。人間のみならず動物や植物などすべての生き物が乗客であり、人間が乗務員として責任のある行動をとることの必要性を訴える概念であります。乗務員である人間が自分勝手に無茶な行動をとれば「宇宙船地球号」の環境はとたんに悪化し、すべての生き物の生命が危機に瀕してしまうことは明白であります。明白でありながら歴史は繰り返します。せめて日本だけでも経済のために戦争を起こさない国でありますことを祈念致します。

**幹事報告 渭原浩介幹事**

◎例会変更のお知らせ

◎浜北伎倍RC（ビラックス高蘭）

- ・12月12日（火）ビジター受付はありません
- ・12月19日（火）18:30～19:00
- ・12月26日（火）特別休会



◎配布物

- ・週報2162号
- ・抜萃のつづり
- ・年次総会のご案内
- ・クリスマス家族会のご案内
- ・ロータリーの友 11月号

◎連絡事項

- ・本日節約ランチです。
- ・年次総会について
- ・古着deワクチンについて
- ・地区委員の推薦について
- ・米山奨学生「世話クラブ」及び「カウンセラー」引き受けについて
- ・理事会報告

**スマイルレポート 浅井直行君**

◎外山武志君

本日の卓話は、第2620地区公共イメージ委員長小林様をお招きしました。よろしくお祈りします。



**委員会報告**

◎坂本修一プログラム委員長

1月のプログラム発表

◎中村俊幸青少年奉仕委員長

11月12日日曜日にインターアクト指導者講習会に参加してきました。西RCからは私と山地さん、オイスカ高校から先生と2名の生徒が参加しました。午前中はベトナムとインドネシアの国際交流員の方の話を聞き、午後はグループに分かれてダンスの練習をし、その後発表を行うという形でした。多くのロータリアン、インターアクターと交流でき有意義な時間となりました。ありがとうございました。



◎松山巨男ロータリー情報委員長

入会者オリエンテーションを行いました。八木、藤本、小林会員が対象でしたが、所用の為、小林会員は欠席でした。ロータリーの楽しさ、歴史、奉仕の理念、目的等を説明しました。和やかに懇談ができました。



**本日のプログラム**

担当 外山武志公共イメージ委員長

発表者 小林武治 第2620地区公共イメージ委員会委員長  
タイトル 地区公共イメージ委員会活動方針



- ◆本日の例会メニュー
- ミネストローネ
- 豚バラ肉の煮込みと
- チーズハンバーグ
- 地場野菜添え
- ツナとポテトのサラダ
- ライス コーヒー



**1月度プログラム予定内容**

委員長 坂本 修一 副委員長 中村俊幸

月	日	曜日	例会数	担当委員会	担当者	卓話者	内 容	備 考
1	5	金		祝日休体会				
	12	金	2167	クラブ協議会	青木 元男		委員会活動報告	理事会
	19	金	2168	親睦	中村・藤森		新年会(夜間例会、THE HAMANAKO)	THE HAMANAKO
	26	金	2169	社会奉仕	瀧本 健司		篠原中学校、入野中学校の生徒、職員による防災学習の報告	